

資料3

(地域における副業・兼業人材活用事業)

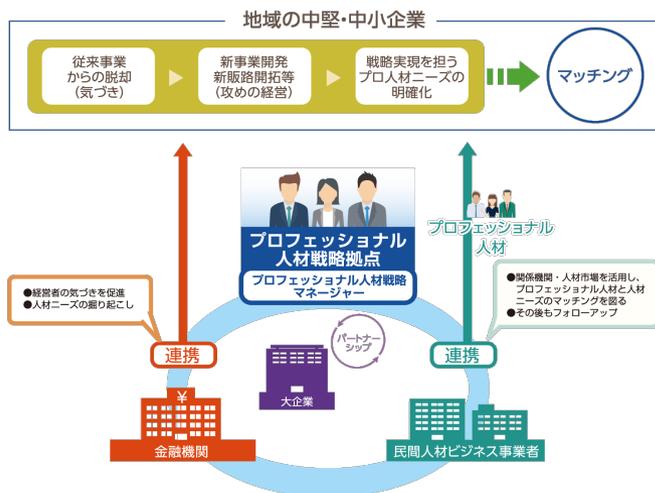
※公開情報より作成

地域における副業・兼業人材活用事業①

内閣府プロフェッショナル人材戦略ポータルサイト

<事業概要>

- ・内閣府では、各道府県に「プロフェッショナル人材戦略拠点」を設置し、地域の関係機関等と連携しながら、「プロフェッショナル人材」の活用について、民間人材ビジネス事業者等を通じてマッチングをサポート。
- ・地域側の「プロフェッショナル人材」のニーズ開拓を、官が積極的に担うことで、「プロフェッショナル人材」が地方に還流するよう、民間転職市場の再構築することを狙い。
- ・本事業では、人材市場を活用するほか、地域企業のプロフェッショナル人材に対するニーズを、都市部大企業に提供することで、地域企業と都市部大企業との人材交流(出向・研修)を通じた地方創生の実現をサポート。
- ・都市部大企業のパートナーシップ企業数は、2021年9月28日現在でソニーなどの大手企業37社。
- ・各道府県の「プロフェッショナル人材拠点」には、「プロフェッショナル人材マネージャー」が置かれている。多くの拠点では、マネージャー含めて3～4名程度のスタッフが稼働。



プロフェッショナル人材のイメージ

人材タイプ	「経営革新」に対する貢献領域	例
経営人材・経営サポート人材	経営者を支える右腕として企業マネジメントに携わる人材(将来の経営幹部候補も含む)。	企業経営や大手企業での事業部管理等のマネジメント経験者等
新事業立ち上げ・販路開拓人材	新規事業や海外現地事業の立ち上げなど、企業にとって新たな事業分野や販路を開拓し、売上増加等の効果を生み出す人材。	商社等での営業や新規事業の立ち上げ経験者、海外事業企画等のグローバルビジネスのマネジメント経験者等
生産性向上人材	開発や生産等の現場で新たな価値(新たな製品開発、生産工程の見直し等)を生み出すことのできる人材。	大手企業の工場長等の経験者、技術者として開発リーダー等の経験者等

<出典>

内閣府プロフェッショナル人材戦略ポータルサイト: <http://www.pro-jinzai.go.jp/about/scheme.html#scheme01>

地域における副業・兼業人材活用事業②

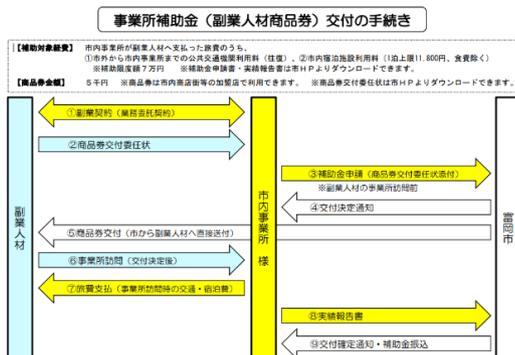
【実施背景】

- 地方における企業の都市圏人材ニーズはもともと高かったとされているが、生活の拠点を地方に移してまで転職を希望する人材は限られていた。
- 昨今の新型コロナウイルス感染拡大をきっかけに、テレワークが一気に拡大普及。移住しなくてもリモート環境で、地方企業において副業・兼業で働くことが可能となり、あるいは副業・兼業を促進する労働環境の変化等とも相まって、地方企業での副業求人は大幅に増加。

群馬県富岡市(副業人材活用事業)

<事業概要>

- ・群馬県富岡市は、「自らのスキルを地域に生かしたい副業人材」と「副業人材を受け入れて課題解決したい市内中小企業」のマッチングを支援することで、課題解決を促進し、地域経済活性化と関係人口創出を図る、「副業人材活用事業」(補助事業)を2021年10月に展開。
- ・マッチングには、市が業務委託したマッチング機関が連携し募集広告を掲載。手続きや副業人材との契約等には、事業連携する金融機関「しのみ信用金庫」のサポートも受けられる。
- ・ただし、マッチングサイトに応募のあった副業人材との交渉は、地元中小企業が直接行う。
- ・補助対象は、マッチングサイト掲載料(先着20社まで無料)、副業人材の交通費・宿泊費、副業人材1人当たり5,000円相当の商品券。



<出典>

富岡市HP: <https://www.city.tomioka.lg.jp/www/contents/1622437248818/index.html>

富山県南砺市(『副業』応援市民プロジェクト)

<事業概要>

- ・南砺市は2016年より、南砺市に関わる人を増やす「応援市民制度」を開始。2018年からは、副業人材を活用した関係人口の創出を目指し、南砺市商工会とマッチング機関が連携し、地元企業と都市部の副業人材をマッチングする「副業」応援市民プロジェクト事業を推進。
- ・2018年度から2019年度にかけて、32社の募集に318人が応募し、2019年度までに15社が副業人材を受け入れた実績がある。
- ・また、南砺市と富山銀行は、2020年10月、地域が抱える課題やニーズに対応した持続可能な地域社会の実現に寄与することを目的として、『地方創生に向けたSDGsの推進に関する包括提携協定』を締結。この協定のうち、「地域における産業の振興並びに雇用の維持及び拡大」と「移住及び定住並びにUIターン促進」に関する取り組みとして、共働で「副業」応援市民プロジェクト事業を実施することとなり、富山銀行とマッチング機関で業務提携契約を2021年8月に締結。
- ・この締結により、富山県南砺市と南砺市商工会、富山銀行、マッチング機関で、「副業」応援市民プロジェクト事業の推進を加速化。

富山県南砺市「副業」応援市民プロジェクト体制図



<出典>

南砺市HP: <https://www.city.nanto.toyama.jp/cms-sypher/www/info/detail.jsp?id=20125>

<https://www.city.nanto.toyama.jp/cms-sypher/www/info/detail.jsp?id=22934>

みらいワークス: [https://uploads-](https://uploads-ssl.webflow.com/5e60a6d8dcb1b65cfdde0928a/610b4d2e508123af3d2b8b4c_ss_20210810.pdf)

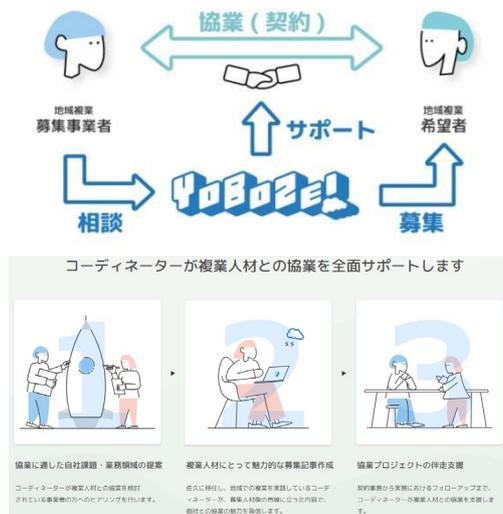
[ssl.webflow.com/5e60a6d8dcb1b65cfdde0928a/610b4d2e508123af3d2b8b4c_ss_20210810.pdf](https://uploads-ssl.webflow.com/5e60a6d8dcb1b65cfdde0928a/610b4d2e508123af3d2b8b4c_ss_20210810.pdf)

地域における副業・兼業人材活用事業③

長野県佐久市(市、JR東日本企画との連携)

<事業概要>

- ・2021年9月、長野県佐久市と株式会社JR東日本企画が推進する、地域活性化プロジェクト『Yoboze!』にマッチング機関が協力し、副業・兼業人材の活用による地域活性化と関係人口を推進する。
- ・佐久市は、市内の中小企業の人口減少による人手・人材不足という課題に対し、この課題を含めた地方創生を推進するべく、2019年3月にJR東日本企画と地域創生に係る包括連携協定を締結し、佐久市のワーキング施設「ワークテラス佐久」を2020年4月1日に開館。新しい時代の働き方をするリモートワーカーを呼び込む等、地域活性化に取り組む。
- ・佐久市とJR東日本企画は、移住者・関係人口などの副業・兼業人材を活用し、地域企業の課題を解決していくためのプラットフォーム『Yoboze!』を2021年9月開設。この『Yoboze!』とマッチング機関が連携し、都市部の副業・兼業人材と、佐久市の企業のマッチングを実施。



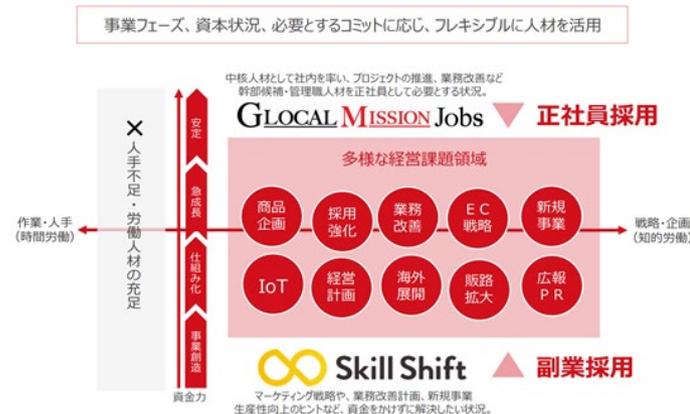
<出典>

Yoboze! HP: <https://www.yoboze.jp/>
 みらいワークスHP: <https://www.mirai-works.co.jp/pressrooms/news488>

石川県(県、北國銀行との連携)

<事業概要>

- ・石川県は、首都圏大企業等で勤務しつつ、副業を希望する高度人材と県内中小企業とをマッチングし、当該人材の専門性の活用により、県産業の競争力強化に繋げることを目的に、2021年、マッチング機関2社に業務を委託し、副業人材の活用に向けた起業者向けセミナーを事業者毎に実施。
- ・北國銀行は、取引企業の課題解決能力の向上をサポートすることを目的に、2020年1月より人材紹介業務を開始。北國銀行が窓口となり、取引企業のニーズに応じた適切な人材の紹介を通じ、正社員採用を支援。
- ・一方で、マッチング機関1社と株式会社北國銀行は、人材支援による地域企業の事業強化を目的とした業務提携契約を2020年11月に締結。
- ・北國銀行は、地方中小企業へ経営幹部や後継者として転職を希望する都市部人材約13,000名が登録する地方転職Webプラットフォームと、地方中小企業で副業を希望する都市部人材約4,000名が登録するマッチングサイトと提携することにより、北國銀行の取引企業の人材課題解決の強化を目指す。



<出典>

石川県HP: <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/syokou/fukugyou/seminar.html>
 みらいワークスHP: <https://www.mirai-works.co.jp/pressrooms/news307>

地域における副業・兼業人材活用事業④

愛知県豊田市「副業・プロボノ人材活用プログラム」

<事業概要>

- 豊田市は、市内中小企業の経営者が抱える商品開発、業態転換、DX化、カーボンニュートラル対応などに係る課題の解消に向けた支援策として、新たに「副業・プロボノ人材活用プログラム」を立ち上げた。コロナ禍で厳しい経営環境にある市内中小企業と、大手企業社員など専門的な知識・経験等を有する外部人材とをマッチングすることで、企業の課題解決を図るとともに、地域内外の人材交流を促すとしている。
- 企業の募集期間は、2021年8月18日～9月30日。
- 対象は、外部人材の活用に意欲のある豊田市内の中小企業・個人事業主10社。
- 副業・兼業マッチングサイト枠 8社：会員登録者数5,200人を抱える既存の人材マッチングサイトを活用し、30～40代の都市部在住者を中心にマッチング。
- トヨタ自動車株式会社人材育成研修(先進PT☆プロボノ)枠 2社：知識やスキルを無償提供して社会貢献するボランティア活動(プロボノ)を通じた人材育成に取り組むトヨタ自動車株式会社の社員とマッチング。
- プログラムの参加費は無料。ただしマッチングサイト枠の外部人材への報酬は、受入れ企業が負担。
- 詳細について、9月15日にオンライン説明会を開催。
- 本事業は豊田商工会議所、豊田信用金庫との包括連携協定事業として実施。

本事業は、セミナーだけでなく副業・プロボノ人材とのマッチングまでをサポート



中小企業様向けに、以下の2つのプログラムを準備しています。ご関心や実施内容に沿ったプログラムへ、エントリーお願いします。

①ふるさと兼業

全国の幅広い層の外部人材候補へアプローチすることのできるWEBサイト「ふるさと兼業」を活用して全国から人材を募集

▼本プログラムのポイント

- 企業課題に沿ったプロジェクトに対し、適切なスキルや技術を持った人材を全国から募集可能
- 5000人を超える登録会員に対して、企業情報を発信できる
- 条件面だけでなく、事業や企業ビジョンに共感する人材が多数参加



<ふるさと兼業の実績> ※2018年9月～2021年3月

- 募集プロジェクト：250件超/エントリー率：100%
- マッチング250件450人超/掲載企業の成約率：92%
- 会員登録数：5200人
- ※都市部在住者、30代40代が最も多い。
- 大企業社員やフリーランス、経営者など幅広く登録

②トヨタ先進・PTプロボノ

トヨタ自動車株の社員を期間限定で迎え、経営革新に挑む4ヶ月の実践プログラム

▼本プログラムのポイント

- トヨタ自動車社員がプロボノとしてチームを組み、週4時間程度企業の課題解決をサポート
- 大手企業で培われた多様な経験やノウハウを学ぶ機会に
- コーディネーターが専属でプロジェクトを伴走支援

【対象となる企業】 ※2社限定の募集となります

- 従業員数50名以下
- トヨタ自動車と直接取引がない
- 右記のすべてのセッションに参加出来ること

▼参加必須の集合セッション



【過去事例】

- たまり醤油蔵：OEMによる商品開発サービスの新規顧客獲得
- 拼製造業：拵をつかったマイクロリズム事業の立ち上げ
- 鬼瓦製造：鬼瓦を使った部分キット、弁当の商品企画



<出典>

豊田市HP：<https://www.city.toyota.aichi.jp/jigyousha/other/1045510.html>

https://www.city.toyota.aichi.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/045/510/01.pdf

地域における副業・兼業人材活用事業⑤

岐阜県養老町(町、商工会との連携)」

<事業概要>

- 岐阜県養老町は、町内の中小企業が「攻めの経営」に転じていくために、都市部からの副業・兼業のビジネス人材を活用して、攻めの経営に取り組んでいくための意識啓発を図り、人材活用の新たな仕組みづくりにつなげる事業を展開。
- 人材支援による地域企業の事業強化ならびに関係人口創出を目的に、岐阜県養老町と養老町商工会、マッチング機関は2021年10月に提携し副業・兼業人材の活用を推進。
- 養老町は、事業推進のために、マッチング機関の利用にかかる求人掲載費用の全額と、地元企業が副業・兼業人材に支払う報酬、副業・兼業人材の交通費を半額負担。
- マッチング機関は、インターネットWEBの管理画面の提供、副業・兼業人材活用セミナーの開催、副業・兼業人材の集客、副業・兼業人材活性化のサポートを実施し、本仕組みの定着・自走化を進めていくための足掛かりとしてプロジェクトをサポート。
- 第一弾の取り組みとして、2021年11月1日に地元企業に向けて、副業・兼業人材活用セミナーと相談会を実施。



<出典>

みらいワークスHP: <https://www.mirai-works.co.jp/pressrooms/news503>

和歌山県(県、財団、南紀白浜エアポートの連携)」

<事業概要>

- 和歌山県は、県内の中小企業が、都市部からの副業・兼業のビジネス人材を活用して、攻めの経営に取り組んでいくための意識啓発と、人材活用の新たな仕組みづくりにつなげるために、2021年10月、マッチング機関と連携し、副業・兼業人材の活用を推進する。
- 株式会社南紀白浜エアポートが、人材不足に課題を抱える企業に、『副業人材の活用』を紹介し、企業は経営課題を解決するための副業求人情報をマッチング機関の募集サイトに掲載。
- わかやま産業振興財団は、地元企業等への副業・兼業人材活用の提案や相談窓口となり、和歌山県は事業推進のために、本来、マッチング機関の募集サイト利用にかかる求人掲載費用を支援。
- マッチング機関は、和歌山県専用の特設サイトの開設、インターネットWEBの管理画面の提供、副業人材活用セミナーの開催、副業人材の集客、副業人材活性化のサポートを実施し、今後、本仕組みの定着・自走化を進めていくための足掛かりとして、プロジェクトをサポート。
- 和歌山県内の企業は、副業・兼業人材を募集する費用が無料となる。
- 第一弾の取り組みとして、特設サイトを作成し、副業・兼業人材の募集を実施。また、2021年10月18日に和歌山県内で副業・兼業人材活用を検討されている地元企業向けに、副業人材活用セミナー「もう悩まない！副業人材と歩む明るい未来」を実施。

みらいワークスと南紀白浜エアポートの業務提携内容



<出典>

みらいワークスHP: <https://www.mirai-works.co.jp/pressrooms/news500>

南紀白浜エアポートHP: <http://shirahama-airport.jp/application/files/5316/1232/1266/20210203.pdf>

地域における副業・兼業人材活用事業⑥

兵庫県神戸市(求人ステーションKOBÉ)」

<事業概要>

- ・神戸市では、副業・兼業人材の活用の相談窓口「求人ステーションKOBÉ」を2021年10月に開設するとともに、セミナーの開催や、市内金融機関との連携によるフォロー体制の充実等を通じて、市内中小企業の成長を支援。
- ・首都圏に多い副業・兼業人材と市内中小企業を繋げることで、神戸市への新たな関係人口の創出を図る。
- ・この事業は、東京のフリーランサーを支援する団体への委託事業として実施。

<求人ステーションKOBÉ>

- ・市内企業からの副業・兼業人材活用についての相談に経験豊富なコンシェルジュが対応し、課題整理や求人、マッチングを支援。電話やメールでの相談受付のほか、対面相談窓口も設置予定。
- ・電話相談受付は、平日10時～17時まで。



<出典>

求人ステーションKOBÉ HP: https://lp.freelance-jp.org/kyujin_station_kobe/

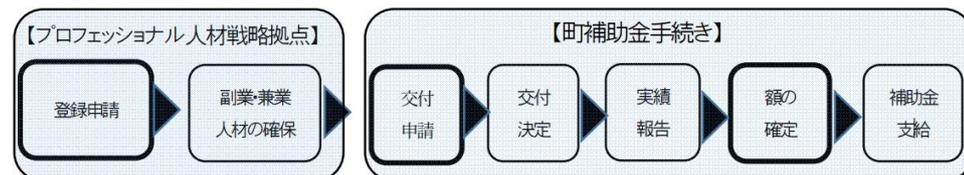
神戸市HP:

<https://www.city.kobe.lg.jp/a14333/business/sangyoshinko/shokogyo/venture/newindustry/press/058092562991.html>

鳥取県智頭町(兼業外部人材活用支援事業補助金制度)

<事業概要>

- ・鳥取県の「とっとりプロフェッショナル人材戦略拠点」の支援を受けていることを要件に、事業の拡大や事業性を高めるために外部人材を活用する町内事業所等に定額補助を行う制度を2021年7月に創設。
- ・補助額は、1年目は課題抽出や活動計画策定等に対して定額30万円、2年目以降は1年目で策定した具体的な取組に対して定額50万円。



<出典>

智頭町HP: <http://chizu.sanin.jp/chizu/kikaku/r100/>

地域における副業・兼業人材活用事業⑦

鳥取県(とっとり副業兼業プロジェクト)

<事業概要>

- 鳥取県は、県内中小企業が、都市部からの副業・兼業のビジネス人材を活用して、攻めの経営に取り組んでいくための意識啓発と、人材活用の新たな仕組みづくりにつなげるために、「とっとり副業兼業プロジェクト」を発足。
- この第一段として、2019年9月13日に鳥取県で副業を希望する都市部の副業・兼業人材向けに「副業兼業サミット～週1で地方企業の副社長になる～」を実施。サミットでは、鳥取県での副業・兼業の具体的な仕事を紹介し、県内で副業・兼業を希望するビジネス人材を募集する。
- マッチング機関は、鳥取県専用の特設サイトを開設し、鳥取県の企業で副業を希望するビジネス人材を募集。また、今後は、マッチング機関が有する地方中小企業と都市部の副業人材のマッチングにおける各種ノウハウや、注意点等を共有し、鳥取県で本仕組みの定着・自走化を進めていくための足掛かりとして、プロジェクトをサポート。
- 鳥取県は、マッチング機関および人材紹介会社3社と連携して、プロジェクトを展開。

■鳥取県の「副業・兼業プロジェクト」の推移
 ―そもそもは2015年の「プロフェッショナル人材戦略拠点」のオープンから始まった

2015年11月	とっとりプロフェッショナル人材戦略拠点開所
2016年1月	同拠点に戦略マネージャーとして松井太郎氏着任
2017年7月	鳥取県立ハローワークを米子市、境港市、東京都、大阪市に開所
2018年4月	鳥取県立倉吉ハローワークを倉吉市に開所
2018年6月	鳥取県立鳥取ハローワークを鳥取市に開所
2018年6月	鳥取県立鳥取ハローワーク内にとっとりプロフェッショナル人材戦略拠点を移設
2019年9月	ビスリーチと共に2019年度副業・兼業プロジェクトをスタート (14社16求人にとり約1400人の応募)
2020年9月	みらいワークスと共に2020年度副業・兼業プロジェクトをスタート (85社103求人にとり約1200人の応募)
2020年5月	パーソルイノベーションと共に2021年度副業・兼業プロジェクトをスタート (四次までの募集で100社100求人目標。一次募集で46社68人を達成)

(取材から筆者作成)

<出典>

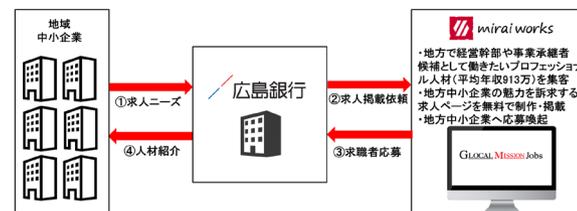
とっとり副業兼業プロジェクト: <https://www.fukugyo-kengyo.tottori.jp/>
 新・公民連携最前線: <https://project.nikkeibp.co.jp/atclppp/PPP/434167/081200190/?ST=ppp-print>

広島県(県、広島銀行との連携)

<事業概要>

- 広島県は、県内中山間地域において、人材不足などの課題を抱える中小企業が、外部人材を活用して自社の経営課題に継続的に取り組んでいくための意識啓発を図り、人材活用の新たな仕組みづくりにつなげることを目的に、マッチング機関と提携。2020年度より「中山間地域 外部人材活用支援事業」を実施。
- マッチング機関は、広島県専用の特設サイトを開設。中山間地域に立地する企業で副業を希望するプロフェッショナル人材を募集。
- また、中山間地域を有する19市町のうち、外部人材活用の意向を持つ各市町と外部人材活用支援機関を立ち上げ、実証事業を行う。この第一段として、2020年8月20日に安芸高田市の企業向けに「中山間地域外部人材活用セミナー」を実施。セミナー受講後、外部人材の活用を希望する企業に対しては、特設サイトへの求人情報の掲載を行う。
- 一方で、マッチング機関は、株式会社広島銀行と人材支援による地域企業の事業強化を目的とした業務提携契約を2020年11月に締結。
- 広島銀行は、取引先の課題解決能力の向上のサポートを目的に、2019年4月より人材紹介業務を開始。広島銀行が窓口となり、取引企業のニーズに応じた適切な人材の紹介を通じ、正社員採用を支援。
- このため、マッチング機関は、地方転職Webプラットフォームを通じ、正社員採用をするための支援を展開。

広島銀行との業務提携内容



<出典>

みらいワークスHP: <https://www.mirai-works.co.jp/pressrooms/news275>
<https://www.mirai-works.co.jp/pressrooms/news312>

地域における副業・兼業人材活用事業⑧

佐賀県伊万里市(TSUNAGU関係人口創出)

<事業概要>

- ・佐賀県伊万里市は、地元金融機関の伊万里信用金庫と、人材支援による地域企業の事業強化ならびに関係人口創出を目的とし、伊万里市「TSUNAGU関係人口創出」プロジェクトを推進。
- ・2020年12月、伊万里市と伊万里信金は、人口減少などの課題解決や産業、経済の活性化、地域活力の創出を協力して取り組むことを目的とし、「地方創生に関する包括連携協定」を締結。具体的な施策として、シティプロモーションや地域で人材が不足している医療・介護・福祉分野に進学する学生を対象とした、奨学ローンの創設による地元就職の促進、都市部副業人材の活用等を検討。
- ・2021年6月、伊万里市と伊万里信用金庫、マッチング機関の3者で包括連携協定を締結。
- ・伊万里信金が、人材不足に課題を抱える企業に、『副業人材の活用』を紹介し、経営課題を解決するための副業求人情報をマッチング機関求人サイトに掲載。
- ・伊万里市はプロジェクト推進のために、マッチング機関副業人材募集サイトの利用にかかる求人掲載費用の支援。

伊万里市「TSUNAGU関係人口創出プロジェクト」体制図



<出典>

伊万里市 HP: <https://www.city.imari.saga.jp/17699.htm>

みらいワークスHP: <https://www.mirai-works.co.jp/pressrooms/news444>

福島県いわき市(市と商工会議所、市内金融機関2行との連携)

<事業概要>

- ・福島県いわき市は、いわき商工会議所、市内に支店をもつ2金融機関(ひまわり信用金庫、いわき信用組合)、マッチング機関と、人材支援による地域企業の事業強化を目的として、『副業人材活用に関する連携協定』を2021年3月18日に締結。今後、本協定を通じて、いわき市の中小企業と首都圏「副業人材」をマッチングすることにより、いわき市の中小企業の経営課題を解決し、地域経済の活性化を目指す。
 - ・協定では、
 1. 首都圏の副業人材の動向や傾向等の情報共有
 2. 市内企業への説明会等の開催
 3. 市内企業の副業人材活用ニーズ等の情報提供
 4. 市内企業と副業人材とのマッチングの推進
 5. 副業人材を通じた関係人口の創出。
- を実施。

福島県いわき市「コロナ後を見据えたワークシフトプロジェクト」体制図



<出典>

みらいワークスHP: <https://www.mirai-works.co.jp/pressrooms/news400>

地域における副業・兼業人材活用事業⑨

「海の京都」未来共創ネットワーク(京都府北部5市2町)

<事業概要>

- ・「海の京都」未来共創ネットワークは、外部人材(副業・兼業)の活用による、地域の中小企業の経営課題を解決するための支援プロジェクト。2021年度スタート。
- ・「海の京都」未来共創ネットワークの構成員は、京都府北部5市2町の商工会・商工会議所(福知山市商工会・京丹後市商工会・与謝野町商工会・伊根町商工会・舞鶴商工会議所・福知山商工会議所・綾部商工会議所・宮津商工会議所)と、京都府プロフェッショナル人材戦略拠点、京都北都信用金庫が連携協力する地域プラットフォーム。
- ・「海の京都」未来共創ネットワークでは、副業・兼業、リモートワーク等の柔軟な活用形態を取り入れることによって、プロフェッショナル人材の力を自社の経営課題解決に活かす方法の提供と、実際に「副業プロフェッショナル人材」を確保する支援を展開。

・具体的には、

- ・連携するマッチング機関からの情報提供(副業・兼業人材活用のコラム)。
- ・副業・兼業プロ人材活用ワークショップの開催(2021年11月開催)。
- ・副業・兼業によるプロフェッショナル人材確保/活用推進セミナー(同時開催:中核人材確保支援事業エントリー企業募集説明会)の開催(2021年10月開催)。



<出典>

「海の京都」未来共創ネットワークHP:<https://www.uminokyoto-mirainet.go.jp/>

熊本県八代市・人吉市・芦北町「熊本がまだす！副業プロジェクト」

<事業概要>

- ・2020年7月豪雨被災地域である熊本県八代市、人吉市、芦北町と、地元金融機関である熊本中央信用金庫、肥銀オフィスビジネス株式会社、経済団体等(八代商工会議所、八代市商工会、一般社団法人八代圏域雇用促進センター、人吉商工会議所、芦北町商工会)とマッチング機関は、豪雨災害からの早急な“創造的復興”を目指し、「熊本がまだす！副業プロジェクト～7月豪雨災害からの創造的復興～」が2021年1月19日の発足。
- ・熊本中央信用金庫、肥銀オフィスビジネスが、被災地域の企業に、『副業人材の活用』を紹介し、副業求人情報をマッチング機関求人サイトに掲載。
- ・八代商工会議所、八代市商工会、一般社団法人八代圏域雇用促進センター、人吉商工会議所、芦北町商工会は、課題を抱える会員事業所に『副業人材の活用』を紹介し、連携先の熊本信用金庫ならびに肥銀オフィスビジネスを通し、求人サイトへの掲載や掲載後のフォローアップを行い、会員事業所のサポート。
- ・マッチング機関は、プロジェクト推進のために、副業人材求人サイトの利用にかかる求人掲載費用を一定期間無償化し、支援ならびに、副業人材活用の説明会及び検証会を実施。

「熊本がまだす！副業プロジェクト」～7月豪雨災害からの創造的復興～



<出典>

みらいワークスHP:<https://www.mirai-works.co.jp/pressrooms/news358>

熊本中央信用金庫HP:http://www.kumachu.jp/_news/contents/10243.html